

～創造性と生育歴～ ワイエス親子の場合

豊田市美術館館長 高橋秀治様をお招きし、20世紀アメリカ、孤高のリアリズムの画家アンドリュー・ワイエスについて、彼の父親との関係性と生育歴が創造性をどのように育んだかご講演いただきます。



アンドリュー・ワイエス
(1917-2009)

有名なイラストレーター・画家を父に持ち、少年時代から画才を発揮し、20歳でニューヨークのギャラリーで個展を開いて完売する。38歳のとき最年少でアメリカ美術文芸アカデミーと国立美術文芸協会の会員に選出され、46歳のときケネディ大統領から「自由勲章」を授与、晩年90歳にはブッシュ大統領から国民芸術勲章を授与された。

生まれ故郷のペンシルヴェニア州や夏の家のあるメイン州の身近な風景や親しい人物を驚異的な技術で描き続け、アメリカの国民的画家とも評された。日本では1974年に東京国立美術館で初の個展が開かれ18万人が来場、1995年愛知県美術館で開かれたワイエス展には12万人の来場者がつめかけた。

豊田市 美術館長 講演会

in
足助病院

入場無料

予約不要

2025. 11. 4

火

[開演] 13:30 [終了予定] 14:30

足助病院 講義室 1

お問い合わせはこちら